

富山 参院 道内駆ける

北海道地震発生直後から震源地の厚真、安平、むかわ町はじめ道内を駆け巡り、被災者救援と復興へ奮闘する日本共産党の富山和也前衆院議員(参院道選挙区候補)。6日釧路町、7日帯広市、8日旭川市でまつりや演説会に臨みました。



参加者と交流する富山氏(中央)ら118日、北海道旭川市

沖縄に続き今度は私たちが

旭川

党旭川、上川両地区委員会は後援会が呼びかけた旭川の「紅葉まつり」では、真下紀子道議と旭川市議ら管内の地方議員が一堂に会し、決意を表明しました。

真下道議は、道民生活と営業・営農、地域経済に深刻な大打撃を与えたフラックアウト(全域停電)を起した問題で、国と北電の責任を追及し、苫東厚真火力発電所の耐震基準を「知らなかった」と高橋はるみ知事を強く批判しました。被災者の要求や声をもとに、国や道に要望をくり返し求める「懸け橋」として1

力月余、活動してきた富山



がんばろうを三唱する議員、候補ら=7日、北海道帯広市

党十勝地区委員会が7日



声援に応える中家(左)、富山氏=6日、北海道釧路町

氏。安倍自公政権の猛攻撃をはね返して圧勝した沖縄県知事選を熱く訴え、今度私は私たちが政治を変える番です。強く大きな日本共産党をつくり、市民と野党の共闘をさらに前進させ、安倍政権を退場に追い込みましょう」と力を込めました。

「現場に何度も駆けつけ、被災者に寄り添って住民生活を守って頑張る富山さんは素晴らしい」というのは、旭川市の大江純子さん(69)。「富山さん、真下さんの話を聞き、私たちも頑張らなければと元気ももらいました」と語ります。

帯広

に帯広市で開いた演説会。富山氏は、日米共同訓練に伴うオスプレイ飛行の補給拠点として自衛隊十勝飛行場が利用されようとしている問題や、環太平洋連携協定(TPP)や事実上の日米FTA(自由貿易交渉)ともいえる日米間の交渉の翻転を改ざんした安倍政権を批判。国民の生活不安の声を傾けず、アメリカと大企業の利益のためだけの政治をやめさせようと訴え、大きな拍手に包まれました。

佐々木とし子道議候補(帯広市区)は「安倍政権いいなりの高橋道政では、道民の命と暮らしは守れません。帯広初の党道議の実

現で道政を変えましょう」と力説しました。

党演説会初参加の熊田和真さん(20)は「感動しました。大変な思いで働いている現場を変えるため、若い仲間にも政治の本質を伝えて行動していきたい」と意気込みます。

釧路町

釧路町議補選(定数1)で議席獲得をめざして開かれた党演説会。中家はる子町議候補は「町議会での日本共産党の3議席は、町民要求の実現にとってかけがえない議席」と述べ、故三浦信一町議の議席を引き継ぐと決意を表明。「安倍内閣のもとでの格差と貧困が広がり、町民のくらしと営業は大変。だからこそ生活を応援するために頑張ります。財政調整基金を活用して小学校卒業までの医療費と給食費の無料化を進めていきたい」と具体的に訴えました。

参加者は「三浦さんの議席をぜひ取り戻してほしい」「釧路町から頑張って、安倍首相を辞めさせたい」「さすがは富山さん、早く国会に戻って」と期待を寄せていました。